

会 議 録

会議の名称	第2期 小金井市地域自立支援協議会（第1回）
事務局	福祉保健部障害福祉課、地域生活支援センターそら
開催日時	平成22年2月19日（木） 午後2時00分から午後4時00分
開催場所	小金井市市民会館（萌え木ホール）A会議室
出席者	【委員】 伊藤良子委員(会長)、矢野典嗣委員（副会長）、森田純司委員、大久保昌弘委員、山田満里子委員、山田正市委員、吉沢幸子委員、枘本敬子委員、中村悠子委員、斎藤修委員、佐久間育子委員 【事務局】 障害福祉課相談支援係長 高田明良 障害福祉課相談支援係 江見健志 地域生活支援センターそら 施設長 熊倉弘子、伊藤奈保子
傍聴の可否	可
傍聴者数	0人
会議次第	別紙会議録のとおり
会議結果	別紙会議録のとおり
提出資料	添付のとおり

第2期 小金井市自立支援協議会（第1回） 議事要旨

日時：平成22年2月19日(木) 14:00～16:00
場所：小金井市市民会館（萌え木ホール） 3階A会議室
出席者：協議会委員 11名（欠席2名）
小金井市福祉保健部長
障害福祉課相談支援係長
障害福祉課障害福祉係
障害福祉課相談支援係
地域生活支援センター そら（2名）

- 配布資料 1： 第2期地域自立支援協議会の検討項目について（資料1-①②③）
2： 障害福祉サービス等に係る利用者負担の軽減について（資料2）
3： 肝臓機能障害の認定等について（資料3）
4： 精神保健福祉手帳の用紙変更について（資料4）
5： 第2期小金井市地域自立支援協議会委員名簿（参考資料1）
6： 平成21年度障害のある人の理解のための説明会開催結果（参考資料2）
7： 年代別障害関係機関ネットワーク図（参考資料3） → 矢野委員

開催にあたって、事務局より資料の確認。

1. 委員の委嘱について

事務局（高田係長）	・ 本日は、自立支援協議会委員が改選され、最初の会議。よって、要綱に基づく協議会の会長が選出されるまでは、事務局において会議を進めさせていただくため、ご了解願いたい。 ・ 委員の委嘱手続きに入る。予め委員の皆様の机の上に委嘱状を配布。委嘱状の氏名及び委嘱期間についての確認をお願いしたい。
一同	・ 特になし。
事務局（高田係長）	・ 間違い等がなければ、委員の委嘱手続きをこれにて終了させていただく。

2. 福祉保健部長挨拶

事務局（高田係長）	・ 小俣福祉保健部長からご挨拶させていただく。
小俣福祉保健部長	・ 新しい任期が始まり、本日が第1回目の会議。本来であれば、稲葉市長よりご挨拶申し上げるところではあるが、公務の都合上本日欠席となってしまったことをお詫びする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を取り巻く環境はめまぐるしく進歩してきている。新たな政権の下、障害という概念の見直しをはじめ、サービスそのものについての見直しに向けて動いていくことになると思われる。 ・小金井市には現在「障害者計画」「障害福祉計画」があるが、平成 23 年度には一旦区切りとなり、平成 24 年度から再スタートを切ることになる。平成 22 年の秋くらいから新しい計画の準備に入らなければならない。国の情報もなかなか入ってこない状況ではあるが、1 年半ぐらいをかけて新しい計画を作成していただきたいと思っている。今度の新しい計画は、保健福祉の総合計画のような大きな柱を立てて、その中で障害のある方や介護が必要な方、健康保健に関することを 1 冊にまとめて行きたいと思っている。それぞれの分野で分委会として作業をしていただき、1 本の計画を作成し、それを 5 年の計画をイメージしているところ。この件についても、委員各位へ相談しながら進めて行きたいと思っている。制度が変化する中、新しい計画を作っていくことをお願いするところではあるが、ぜひともよろしくお願ひしたい。 ・新しい委員 13 名の内、10 人の方が留任していただき感謝する。日頃のご協力を感謝し、新しい委員を歓迎する。 ・これから 2 年間よろしくお願ひしたい。
--	--

3. 委員自己紹介

事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員各位より、自己紹介をお願いしたい。参考資料 1 の名簿を参照。楢本委員より順にお願いする。
楢本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井に来てから 40 年近くになる。主に精神保健福祉の分野に関わってきた。 ・2000 年から 10 年間、農工大通りにある「くりやぶね」を経営してきた。精神障害者の働く場と訓練の場ということでやってきたが、昨年引退した。 ・大久保委員と同様に、市の産業振興プランの委員も担当している。 ・商いと福祉の両面から小金井市の街づくりに関わらせていただいている。 ・よろしくお願ひしたい。
吉沢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者との関わりは 10 年程度と短い。小金井市に転居してきてから、高齢者の地域福祉や太陽の広場などを通じて、知的に障害のある方や身体に障害のある方と長く関わってきた。 ・福祉の中で、一番遅れをとっている精神に障害のある方との関わりを精一杯努めていきたいと思っているので、今後もよろしくお願ひしたい。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立生活支援センターは、平成 16 年の 9 月に開所し、今年で 5 年を迎えた。ようやく地域の資源がわかってきたところ。今後も皆様から協力をいただきながら、頑張っていきたいと思っている。 ・自立支援協議会のネットワークを通じて、さらにより支援が地域で展開できると思っている。どうぞよろしくお願ひしたい。
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・40 年ぐらい前の幼児の通園施設からスタートし、2 年程前に東京都の小金井市生活実習所の委譲を受けて支援にあたっている。利用者の幼児期から成人期に至るまでの支援を展開している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様のお力を借りて頑張っていきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井に来てから丸 9 年が経過。ようやく学校を介して、地域の方や作業所などの接点が出来、少し市の福祉の状況が理解できてきたところ。 ・小金井市に移り住んで 5 年。何らかの形で協力できればと思っている。 ・小金井市の「みんなの会」という青年学級にも携わっている。障害のある方たちと共に暮らしていく街づくりということにも協力できればと思っている。よろしくお願ひしたい。
山田（満）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てもあり、長い間自分のことで精一杯だった。ここ 2～3 年は少し時間にゆとりができ、今年度から親の会の会長を担っている。よろしくお願ひしたい。
山田（正）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2008 年から身体福祉協会の役員を担当。 ・2001 年 11 月に病気で倒れ、その後右半身が不自由になった。1 年程残して会社を早期退職。家庭で休養した後、障害者センターへ通所し始めた。 ・何もわからないが、よろしくお願ひしたい。
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・30 年少し前から小金井市の障害者の支援にあたっている。福祉共同作業所に勤務していた時に、市内の作業所の連絡会を立ち上げ、「りんくの会」を設立。 ・働く場を作るということになり、法人格を取得し、就労支援センターを受託し、平成 19 年 12 月に就労支援センターをオープンした。委託を受けた背景には、小金井市に障害者の働く場が非常に少ないということがあった。今後もより多くの障害者が地域の中で働けることを目指して支援していきたいと思っている。このような視点からこの協議会に関わっていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京学芸大学に勤め、30 年近くになる。 ・小金井市との関わりは、当初から発達障害が疑われる子どもへの支援を中心に行なってきた。常々、一生涯を見越した支援について考えていく必要があると感じている。 ・自立支援協議会を通じて、ネットワークを広げながら小金井市で障害のある人もない人も幸せに暮らしていける街づくりを微力ながらも携わっていければと思っている。よろしくお願ひしたい。
佐久間委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 19 年の 4 月に障害福祉課に着任し、皆様のお話を聞かせていただく中で、非常に長い間障害福祉に関わられてきたと感じている。自身としては、3 年目であり、まだまだ不十分などころもあるとは思いますが、皆様と一緒に勉強させていただきながら、よりよい協議会を作っていきたいと思っているので、どうぞよろしくお願ひしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席の委員の紹介として、多摩府中保健所の秦郁江委員、小金井市商工会の大久保昌弘委員、特定非営利活動法人りんくの富澤淳一委員が選出されている。 ・続いて、事務局の担当職員の紹介をさせていただく。
小俣福祉保健部長	<ul style="list-style-type: none"> ・どうぞよろしくお願ひしたい。
事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課相談支援係に着任し、2 年になる。まだ、制度に精通しきれていない部分もありますが、いろいろなことを皆様から教えていただきながら精進し

	たいと思っている。どうぞよろしくお願ひしたい。
事務局（江見）	・障害福祉課相談支援係に着任し、2年未満。若輩者ではあるが、皆様からのご指導・ご鞭撻をいただければと思っている。どうぞよろしくお願ひしたい。
事務局（熊倉）	・地域生活支援センターそらは、この4月で9年目を迎える施設。 ・法人が指定相談支援事業を受託している関係により、事務局を担っている。 ・小金井市の中のことを知ることによって、この街で生活されている方達のよりよい支援ができるのだろうと思っている。 ・第2期は計画を立てるということと共に、協議会の中で自由に議論ができる時間があるということなので、事務局としても精一杯務めさせていただきたいと思っている。どうぞよろしくお願ひしたい。
事務局（伊藤）	・至らない点も多くあるかとは思いますが、精一杯務めさせていただきたいと思っている。どうぞよろしくお願ひしたい。

4. 会長、副会長の選出について

事務局（高田係長）	・会長及び副会長の互選を行なう。 ・選出の方法として、小金井市地域自立支援協議会設置要綱第5条の規定により、会長及び副会長は委員の互選により選出することになっている。選出方法については、どのようにしたらよいか。
森田委員	・会長の選出については、指名推薦にしてはどうか。
事務局（高田係長）	・森田委員から提案の会長の指名推薦を行なうことについてどうか。
一同	・異議なし。
事務局（高田係長）	・異議なしと認める。 ・会長の指名推薦を行なう。推薦をお願いしたい。
森田委員	・会長には、前会長の伊藤良子委員を推薦する。
事務局（高田係長）	・会長に伊藤良子委員を選出することについて協議願いたい。
一同	・異議なし。
事務局（高田係長）	・異議なしと認める。 ・伊藤会長より、挨拶をお願いしたい。
伊藤会長	・前期に引き続き、会長を務めさせていただく。30年小金井市に関わってはいが、まだまだ地域の実情など不明なことも多くあるので、皆様からのご協力を得て、進めていきたいと思っている。どうぞよろしくお願ひしたい。
事務局（高田係長）	・副会長の指名推薦を行なう。推薦をお願いしたい。
佐久間委員	・副会長には、矢野委員を指名する。
事務局（高田係長）	・副会長に矢野委員を選出することについて協議願いたい。
一同	・異議なし。

事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なしと認める。 ・矢野副会長より、挨拶をお願いしたい。
矢野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指名いただき、感謝する。 ・どれだけ役に立つかわからないが、会長の補佐として頑張っていきたいと思っている。どうぞよろしくをお願いしたい。
事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・議事進行を伊藤会長と交代する。 ・伊藤会長、矢野副会長は、それぞれの席に移動をお願いしたい。

5. 議題

(1) 第2期地域自立支援協議会の検討項目について

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期地域自立支援協議会の検討項目について検討に入る。 ・事務局より、資料の説明をお願いしたい。
事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1「小金井市地域自立支援協議会設置要綱」について説明を行なう。別紙参照のこと。 ・資料1-2「小金井市地域自立支援協議会組織図」について説明を行なう。別紙参照のこと。資料1-1をわかりやすく図式化したものであり、議会提出資料として、障害福祉課にて作成し、提供したものである。専門部会については、例として挙げている。イメージ作りに役立てて欲しい。
事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-3「第1期地域自立支援協議会委員の所属機関課題のまとめ」について説明を行なう。別紙参照のこと。 ・第1期第5回の会議にて配布したものを手直ししたものである。会議の際には、各委員の皆様からご報告いただいた現状と課題として分類していたものを修正した。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1の説明について、何か質問や意見があればお願いしたい。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立支援協議会の協議項目については、別紙要綱の第3条でいくつか規定されている。また、前協議会で協議された各施設団体の現状、課題などから今協議会で協議すべきことがいくつかあると思われる。 ・各委員より今年一年間の協議事項について発言をお願いしたい。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、スタートが遅かった。今年度の開催頻度などスケジュールについて教えてほしい。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局よりお願いしたい。
事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・予算上は、毎月1回の開催は可能。事務局としては、毎月1回年12回のペースでの開催を検討している。
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-3にある課題についてだが、今後どのような方向性で考えられているのか。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・課題については、出していただいたということに留まっている。前期では、その課題の整理にまでは至らなかった。今期委員の中で、どの辺りに重点を置くのかということを確認していかなければならない。

齋藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・希望としては、就労に関する専門部会を早期に立ち上げてもらいたい。 ・就労支援センターとして地域開拓はしているが、なかなかうまく進まない。 ・地域の中で就労について検討を深めたく、この協議会への参加を決めた。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関しては、障害の種別にかかわらず課題にはなっている。
矢野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの課題があるが、この協議会でどのような方向性をもって、2年間でどこまで到達するのかという点をもう少し共通理解が必要なのではないかと。 ・それぞれの課題を前期の後半になって出し合った。その中で、ネットワークの話へとつながった。それに関する資料として参考資料3についての説明を行なう。別紙参照のこと。 ・作成にあたって、市の庁舎内の構造がまだよく理解できていない部分があったため、市のホームページで障害福祉課の中身や学童、保育所のことについてなど調べた。庁舎内で障害児・者をどこが担当しているのか、そこがどの年齢まで担当しているのかなどを記した。具体的なイメージができることで、協議会内での協議が進むのではないかと。ただ、詳細については専門部会の設置は必要に感じる。だからといって、広げすぎでは委員の数も少ないため、2つぐらいで明らかにしていくのはどうだろうか。 ・世界標準を考えていくにあたっては、権利条約があるが、日本ではまだ批准されていない。その権利条約の考え方に基づいて、小金井市の中でどのように生かせるかということを議論できればよいのではないかと。それによって、たりないものは何かというものが見えてくれば、福祉計画に反映することができるのではないかと。 ・2年間で有意義な議論をしていきたいが、現在検討中。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・秦委員からも小金井市の社会資源が一目でわかる図をとるの提案があったこともあり、イメージ図の作成を行なっている。しかし、非常に複雑でもあり一度に1つの図で示すことは難しいため、現状を整理した上でもう一度課題を明確に絞っていく作業が必要との結論に至っていた。
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前期はネットワークについて重視してきた。福祉計画を立てる上で、出てきた課題をそのまま終わってしまうのではなく、それぞれが出したものをどのような形で福祉計画へ反映させていくかということが重要だと思われる。出された課題をどのように検証していくか、課題の解決策に向けて次の福祉計画に反映させていくことがよいと思われる。 ・専門員会とは言っているが、この2時間の協議会の中でやっていくのか、専門委員会を別に集まるのか。だからといって、分けても重なっている人は多い。皆さんのイメージを教えて欲しい。 ・これまでの協議の中でも、内容が入り乱れていってしまっていた。皆で話し合うことが効率的なのか、専門員会を設けた時にまた別の時間を設けるのか。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会のメンバーが非常に少ないため、専門委員会を設置するにあたっては、どのような形がいいのか。メンバーを絞っていく方がいいのか。
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的に福祉計画というのは、幅広い。絞ってもある一部分に偏ってしまう可能性もある。限定されている中で、効率的にということは難しいのではないかと。

伊藤会長	・移行の問題も大きくある。
森田委員	・（前期で作成した「障害者計画」を例にあげ、）次期「障害者計画」には、プランと実施の仕方を計画書を入れ込むことができるのか。難しいことでもあるだろうが、一般的な事例をわかりやすく含めながら示してもらいたい。そこからネットワーク図へと照らし合わせながら見られるようにしてほしい。
伊藤会長	・検証を含めるということか。
森田委員	・検証の中にネットワークが地図として含まれていることが望ましい。
伊藤会長	・森田委員から、具体的意見が出されたがいかがか。
吉沢委員	<p>・小俣福祉保健部長から「保健福祉総合計画」について話があったがこれからの「障害福祉計画」に載せていくことを前提としているわけではないが、折角あがった課題を設置している場所の職員だけでなく、家族や当事者、その他関係機関へと幅広く課題を知ってもらうことが必要なのではないか。</p> <p>・共通の課題としてすり合わせたことを発表できるようなシンポジウムなどの機会を設けたらどうか。お互いに知り合う機会を2年の間に持てたらよいのではないか。</p> <p>・小金井市全体で市民が安心して暮らしていける福祉の街づくりを期待する。</p>
栢本委員	・内容に不明な点がある。この協議会は、出された課題を改善し、実行していく方法を協議していくのか。
伊藤会長	・自立支援協議会内ですべてを解決することはできない。解決に向けてどのようなシステムなどを構築していけばよいのか協議していく。
栢本委員	<p>・この場だけで話し合っても解決はしない。積極的に自ら取り組んでいかないといけないのではないか。</p> <p>・専門委員会の下にぶら下がった集まりが必要なのではないか。</p>
伊藤会長	・専門委員会がそのぶら下がったものというイメージ。協議会の下に設置されるものが専門委員会。
小俣福祉保健部長	<p>・冒頭に申し上げた計画については、1冊にまとめようという話になっている。しかし、内容についてはそれぞれの課別に作成する。そのため、基本的には従前「障害者計画」の内容とは大きくは変わらないと思っていただきたい。</p> <p>・計画については、H21～23年の3年間。その検証を自立支援協議会でお願いしたい。12回の中で、どこまでできるかわからないが、進捗状況を評価していただき、次の計画へつなげるための手入れなどの作業をお願いしたい。（緑の冊子）P.11</p> <p>・資料1－2についての専門委員会については、例としてはこの中を2つに分けて協議していくのが妥当なのではないか。その時の重点的な内容について専門委員会を設置していただき、例にとらわれずに要綱上は専門委員会について設置することができるとなっている。</p> <p>・前回までに出された課題についての優先順位等を設け、次の計画へとつなげていく。新しい検討課題と従前の計画を並行して見直しを行なっていく。時間にも限りがあるため、無理は申し上げられないが、その辺の柱で検討いただければと思い、参考までに発言させていただいた。</p>

伊藤会長	・委員のメンバーでの専門委員会を検討していく方向か。
小俣福祉保健部長	・シンポジウムの開催程大きなものではなくても、当事者や家族の方にも入っていただく形で協議会内での到達点を聞いていただき、意見を聞く機会を設けることもよいのではないかと思う。
伊藤会長	・シンポジウムのようなものをこの1年の間に設定することは可能なのか。
小俣福祉保健部長	・この協議会はすでにオープンな形にはなっているが、よりオープンな形で意見を聞くあるいは意見交換会のような形には可能。
伊藤会長	・一度はオープンな形で開催することも検討していきたい。 ・矢野副会長より、権利条約についての紹介をお願いしたい。
矢野副会長	・市内の各障害種別団体の方に来てもらって、話しを聞く機会を設けたい。 ・公開シンポジウムのような形を年2～3回で実施してはどうか。 ・国際批准になる権利条約が日本ではまだ批准されていないのでそれが批准されれば、自立支援法はなくなるという話しの中では、どのような福祉計画になるのか。根本的に変わってくると思われる。 ・権利条約についての勉強会も検討したい。 ・小金井市の実態の中で、社会参加をする場所がないということが大きな問題。市だけでできないこと地域参加の場を作っていくのかという議論をしていくために専門委員会を設置してはどうか。 ・議論を深めるためにという臨時の委員会を開催してもいいのではないか。 ・いずれにしても、協議会でその方向性を定めないとできない。まだ定めきれない。
小俣福祉保健部長	・当事者団体の意見を聞けるような場の機会は設けることはできる。 ・一般市民も含んだシンポジウムの検討については、障害者週間行事などでの検討はできる。年に何回となると柱が変わっていってしまうが、協議会が参加していく検討はできる。
中村委員	・いろんな意見を聞くことは、参考にはなる。しかし、まだ自分たちの中でまだ方向性が定まっていなくて、イメージできない。 ・「福祉計画」について、今どようになっているのかという検証は必要。ある程度分野で共通の部分を見出し、1回は自立支援協議会もう1回は分科会にするなど協議会の開催を1回おきにしていくのはどうか。 ・委員を3つぐらいに分けるなどし、具体的に進めたほうがよいのではないか。 ・土台については、「福祉計画」と前回までに整理してきた課題の両方合わせて出していったらいいのではないか。そこで、具体的な案が出れば、次の自立支援協議会で報告していくようにしていかなければ、また漠然とした形で終わってってしまうのではないか。 ・委員それぞれ抱えている問題が違うので、なかなかまとまらないのはわかるが、見切り発車も構わないので、作業へと動いていってしまった方がいいのではないか。 ・専門委員会にこだわると難しくなってしまうので、分科会というような大雑把な形でもよい。

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループのような形式がいいのではないか。
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度は得意分野別という点を意識したグループ分けがいいのではないか。 ・13人の委員を3つ(3~4人)に分けてみたらどうか。その分野を今日決定してはどうか。 ・子どもの分野、成人期の分野、それをつなぐ役割の分野あたりが必要か。
矢野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳~高等部までの生活を軸にしたネットワークがどのようになっている、課題のどこが達成していて、どこが未達成か検証する必要がある。 ・18歳以上の成人期の問題として、就労含めた社会参加のためにどのような支援が必要なのか。掲げていることが達成されているのか。 ・さらに今度は青年期からつなぐところがどうなっているのか。
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談系が大事になってくる。
矢野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中心になるのは相談系の部分。その相談系がどのように充実していないとできないのかをもう少し明らかにしていくと、今ある相談支援事業が充実していくのではないかと思われるが、そこの職員が2~3人では対応しきれないという話しになってしまかもしれない。また、もう一つ相談支援事業所が必要との話しにもなるのかもしれない。いくつもとするよりも、ひとつの場所を大きくして、そこで情報が収集できるような方がスムーズに行くのではないか。 ・行政と常につながっているパイプラインをどのように作るのか。その点からもネットワークになっていく。 ・具体的な課題とつき合わせていけば、作成したネットワーク図がもう少し形になっていくのではないか。 ・検証作業というと、市からのそれに対しての実績報告の資料が必要になる。それぞれの相談支援事業がどのような活動をし、どれでだけ蓄積されているのか、その中で困っている課題は何なのかを出してもらって議論を重ねていければと思う。
佐久間委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を作るにあたり、17年に策定した計画の見直しのために、庁内連絡会にて各関係する課に進捗状況や達成年度を依頼。それを集計したものを掲載している。庁内連絡会を有効活用している。 ・必要に応じて、担当課がこの協議会への出席も可能。また、こちらの方から庁内連絡会にて情報の依頼をすることもできる。 ・計画を作成する際には、障害のある人・関係団体・一般市民とアンケート調査を実施している。当事者の意見も伺っているため、そのすり合わせや検証が必要なのではないか。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉計画」の検証と出された課題についてひとつの方向のように感じる。 ・本日は結論ではなく、自由に発言をお願いしたい。
山田(満)委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の最後の方で専門部会を作るのは予算上、難しいという話があった。もし、必要であれば協議会の開催回数を減らしてでも間にということがあったが、中村委員の発言同様、全体の会議は隔月にし、間に専門部会を考えて生きたい。しかし、その前に専門部会の設置について検討してからの方がいいのではないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループにしても同様に感じる。 ・当事者の意見を吸い上げるということが目的であれば、それはまた違うところで収集することはできる。予算は必要ない。 ・身体分野は、幅広いため慎重に意見を聞いた方がいいと思われる。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会という形でいくのかはわからないが、グループに分かれて検討する必要があると感じる。 ・すべてに関わっていく部分であるため、ネットワークだけ別に分科会を設置することは難しい。 ・山田正一委員からも意見や質問をお願いしたい。
山田(正)委員	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいことであっても1つ～2つ程度に絞って検討していった方がいいと思う。全体となるとまとめきれない状況もある。具体的な内容から進めていってはどうか。
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性として何かしら作る必要がある。このままでは仕方がない。 ・部長からも話しがあったが、障害者計画のチェック機能もあるとの話しがあり、それを第一にしてはどうか。これから1年かけて進めていくことがよいのではないかと。ただ、全員でチェックしていくのではなく、やはり分科会にする必要はある。動きを出してから不都合は、その時考えていくようにしてはどうか。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日出された意見をもとに事務局と協議をし、その結果を示していきたいと思っている。 ・事務局からの提案をお願いしたい。
事務局(熊倉)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-3は会議の中で出された課題であるが、「障害者計画」のP.30には、障害のある人を取り巻く課題としてのアンケート結果が出されている。その中の課題1～6までを評価しながら、1つのテーマをそれぞれが持ち帰って、もう一度協議会で集約するということがいかにできるか。テーマを持ち帰った方がそれぞれの現場での議論が深めやすいのではないだろうか。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートから出た課題のひとつを宿題として持ち帰り、それぞれが検討して協議会へ報告する形になるのか。
事務局(熊倉)	<ul style="list-style-type: none"> ・その結果をもって、進捗状況など事務局として必要なデータを提示していきたいと考えている。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害者計画」の進捗状況についての検証作業に入ることを進めていきたい。その進め方については、後日報告させていただく。

(2) その他

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他に提案等いかがか。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。

6. その他

(1) 障害福祉サービス等に係る利用者負担の軽減について

伊藤会長	・事務局より説明をお願いしたい。
事務局（高田係長）	・資料3参照。平成23年度以降の話しではあるが、新たな総合的な制度ができるまでの間、市町村民税非課税世帯の低所得1及び低所得2の利用者負担が0円となることが決定した。執行期日は、平成22年4月1日。 ・現在、受給者証や要綱改正に向けて準備をしているところ。 ・医療に関しては、今回の軽減の対象外となっている。
矢野委員	・所得の範囲はどのようになっているのか。障害者だけでみるのか。
事務局（高田係長）	・所得については、家族世帯。同居の場合は、障害者ひとりの所得としてはみなさない。基準についての変更はない。

(2) 肝臓機能障害の認定等について

事務局（高田係長）	・平成22年4月1日より、肝臓機能障害による身体障害者手帳が交付される。 ・注意点として、肝臓機能障害による手帳取得にあたっては2回の検査が必要となる。平成22年3月31日までに1回目の検査を受けて、7月末までに2回目の検査を受けた方については、4月1日に遡って手帳が交付される。手当については、2回の検査を受けていれば、8月に交付されたとしても、4月1日から支給される。3月31日を越えて検査を受けた方に対しては、手帳交付時より支給対象となる。告示が遅れたための例外措置。 ・マル障（医療費助成）についても同様の扱いとなる。医療機関へは、東京都から情報提供されていると思われる。 ・不明な点につきましては、小金井市役所または東京都へ問い合わせをお願いしたい。
-----------	---

(3) 精神保健福祉手帳の様式変更について

事務局（江見）	・障害者保健福祉手帳の様式変更について説明（資料4）を行なう。 ・平成22年3月より、交付された手帳が新様式となる。手帳のサイズが大きくなった（身体障害者手帳・愛の手帳と同サイズ）。これまでは、開くと住所や生年月日などまで見える形となっていた、新様式では必要最低限の情報しか提示できない形へと変更された。 ・これまでは、精神障害者手帳のも東京都知事の印であったが、身体障害者手帳・愛の手帳と同様に東京都からの発行へと統一化が図られた。 ・申請への変更点はない。更新期間も2年間。 ・個別通知は行なっていないため、周知をお願いしたい。
斎藤委員	・変更する必要があるのか。
事務局（江見）	・必要はない。希望者には、3月1日より受けつける。

(4) 東京都自立支援協議会セミナーの参加について

事務局（熊倉）	・3月1日の東京都自立支援協議会セミナーについて、再度周知させていただく。 ・参加者は、矢野副会長、吉沢委員、楢本委員、山田（正）委員、高田係長、熊倉の計6名。その内、第2部も合わせての参加は、矢野副会長、山田（正）委員、
---------	--

	高田係長、熊倉の4名。
--	-------------

(5) 事務局より

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より連絡等お願いしたい。
事務局（高田係長）	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料2の説明を行なう。今年度、障害福祉課では小金井市役所の職員（係長職者）を対象に3回の研修を行なったものに関する報告となっている。来年度は、主任職や一般職に対しても研修を行なっていく予定。窓口等での接遇に役立てていきたいと思っている。 ・今後の自立支援協議会については、原則毎月開催を予定している。 ・次回の日程は現在のところ、3月18日を予定しているが、調整等必要のため、後日改めて連絡する。

以上